

ご挨拶



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良西和医療センター院長

土肥直文

亀田川の紅葉が色づき、散歩が楽しみになる季節になりました。ファミリーみむろ第22号をお届けいたします。奈良西和医療センターは、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として2020年春から一年半以上に渡り、通常診療を制限しながら新型コロナウイルス感染症患者さんの診療に携わって参りました。この間600人を超える入院患者さんの治療にあたり、6,000人を超えるコロナ疑い患者さんの感染症外来（駐車場の発熱外来）診療を行っています。現在は第5波が落ち着きましたが、第6波の備えをしながら、コロナ以外の一般診療でお待たせしていた手術などの入院診療に重きを置き、診療体制を整えています。そのような情勢ではございますが、11月14日は「世界糖尿病デー」です。世界中で糖尿病と闘う患者さん、医療者が一緒になり、糖尿病を克服するために活動しています。今回のファミリーでは、新しくできました糖尿病外来（水曜日・木曜日）のうち木曜日を

担当する玉城由子先生や、糖尿病看護認定看護師の資格をもつ袖山孝子さんが中心となり、各部門が協力し合って、皆さまのために糖尿病について解説してくれています。現在、糖尿病と闘っておられる患者の皆さまも、将来糖尿病になりたくないと感じ健康管理をされている住民の皆さまも、どうぞこのファミリーをお持ち帰りいただき、じっくり読んでみてください。

さて、10月1日から、糖尿病の合併症対策でも大切な眼の診療にたずさわる眼科の部長が交代となりました。これまでの岡本全弘部長は上牧町で「西大和眼科クリニック」を開院し、代わって奈良県総合医療センターで活躍していた丸岡真治先生が部長として着任しました。また、腎臓内科には、板野明子先生が復帰し、若手医師（循環器内科の山口 徹先生、泌尿器科の吉田 貴法先生、腫瘍内科の渡邊 暁先生）も新しく仲間に入ってくれました。皆さまよろしくお願いたします。西和医療センターは、移転・新築を目指して、病院の診療体制や管理体制を改革中でございます。今後も、引き続き新型コロナウイルス感染症だけでなく、あらゆる領域で医療者としての役割を果たして参る所存でございます。そのためには、患者の皆さま、住民の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介

令和3年10月1日付

眼科部長



まる おか しん じ
丸岡 真治

専門医・専門分野

- ・日本眼科学会指導医・専門医
- ・眼科一般、角膜疾患、白内障

腎臓内科・医員



いた の あき こ
板野 明子

専門医・専門分野

- ・日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会認定腎臓専門医、日本内科学会認定JMECCインストラクター
- ・腎臓疾患全般内科、血液浄化療法（透析、血漿交換など）、腎疾患を伴う膠原病や血管炎などの自己免疫疾患、高血圧

泌尿器科・専攻医



よし だ たかのり
吉田 貴法

専門医・専門分野

- ・日本泌尿器科学会会員、日本泌尿器内視鏡学会会員、日本癌治療学会会員
- ・一般泌尿器科

循環器内科・専攻医



やま ぐち とおる
山口 徹

専門医・専門分野

- ・内科全般および救急医学

腫瘍内科・専攻医



わた なべ さとし
渡邊 暁

専門医・専門分野

- ・日本内科学会会員、日本呼吸器学会会員
- ・呼吸器疾患全般

